

研究の進め方の具体例を見る

I～Ⅲ型それぞれの研究パターン別に、研究の進め方を具体例で示す。(各タイトル中<>は、本稿P.18の課題研究例の校種、番号を指すが、実際の内容とは一部異なる。)

■ 研究パターン I 型の進め方の例

観 察	① 子ども・学校等の実態を観察し、課題を分析する。	実態の把握
仮 説	② その課題について、子ども・学校等にどのような姿を目指したいのか、何を明らかにしたいのかをまとめる	研究目的の設定
	③ ①を②にするために、何をどのようにすれば良いと考えるかを明確にする	研究仮説の設定
	④ ③を、具体的には、どのように実践や追及するのかを検討する	実践方法の設定
	⑤ ③が立証されたかどうかを判断する方法を考える	検証方法の設定
検 証	⑥ ③に基づいた教育活動を④に従って行う	実践・追及
	⑦ ⑥の結果をまとめ、③が立証されたかどうかを⑤によって検討する	結果の検証
	⑧ ③が機能したのはなぜか、機能しなかったのはなぜかを検討する	考察
	⑨ この研究で何が明らかになったか、また実践上の課題や、さらにどのような教育活動が必要かをまとめる	研究の総括と今後の課題のまとめ

◇研究パターン I 型で研究を進めた例 (<小4>の内容を参考に改編して示す)

研究テーマ「学習中の意欲や集中力が高まるような一人学習の工夫」

- ① 1単位時間の学習に取り組むことができない児童がいる。
- ② 1単位時間を通して集中して学習ができるようにしたい。
- ③ 計算力を高める学習を行えば、1単位時間を通して集中した取り組みができるようになるのではないか。
- ④ a 朝自習で計算問題を行う b 休み時間等の個別指導
- ⑤ 解答問題数・正答率 意識調査、観察
- ⑥ ④の実践
- ⑦ 解答数4月21問→12月50問、正答率100%、意識調査、観察結果記述
- ⑧ 計算力の向上など、学習内容の理解が意欲となり、集中力につながったと思われる。
- ⑨ 個別の学習が特に効果があることがわかった。他の教科への応用が課題。

■ 研究パターンⅡ型の進め方の例

仮説	① 明らかにしたいことがらを研究仮説化する	研究目的・研究仮説の設定
	② ①を、具体的には、どのように実践し追及するのかを検討する。	実践方法の設定
検証	③ ①に基づいた教育活動を②に従って行う。	実践・追及
	④ ③の結果をまとめ、①が立証されたかどうかを検討する。	結果の検証
	⑤ ④のような結果が出たのはなぜかを検討する	考察
	⑥ この研究で何が明らかになったか、また実践上の課題や、さらにどのような教育活動が必要かをまとめる。	研究の総括と今後の課題のまとめ

◇研究パターンⅡ型で研究を進めた例（＜高3＞の内容を参考に改編して示す）

- ① ディクテーションによってリスニング力が向上するのではないか。
- ② 中学校でのリスニング指導調査アンケート実施、ディクテーション実施、アンケートと成績の分析考察。
- ③ ②の実施。
- ④ ディクテーション未実施の前学年と実施した今学年のリスニング試験成績を比較分析し成果を確認。
- ⑤ 集中力の持続と関係が大きいと考えられる。基礎的な単語力との相関も大きい。
- ⑥ ディクテーションは他の指導法よりも効果が高い。回数、設定時間を更に工夫して実施する。

■ 研究パターンⅢ型の進め方の例

観察	① 何を明らかにしたいための研究かをまとめる。	研究の目的・研究仮説の設定
	② ①のために何が必要か、どのように実践・追及するのかを設定する。	実践方法の設定
	③ ②を行い、実態や結果をまとめる。	結果・実態の把握
仮説	④ ③の結果から①の問題点や手がかりを検討する。	考察
	⑤ この研究で何が明らかになったか、さらにどのような教育活動が必要かをまとめる。	課題の発見・仮説の設定

◇研究パターンⅢ型で研究を進めた例（p24～29 参照。〔 〕は研究の各項目に対応している）

- 1 1年目研修 教育課題研修（教科外）運営改善に関する一考察
- ① 教育課題研修をもっと効果的に運営する方策を得たい〔1. はじめに〕
 - ② 研修実施要項の分析、受講者アンケートの分析、研修報告書の分析〔2. 検討する資料〕
 - ③ ②を行い、関係部分の抽出を行う〔3. 資料関係箇所抜粋・まとめ〕
 - ④ 運営上の課題の分析〔4. 考察〕
 - ⑤ 運営の改善プランの提示〔5. 今後の研修のために〕